

2020 ベライゾン PSR決済システムのセキュリティに 関するレポート

ファクトシート

予測可能なデータ保護とコンプライアンス遵守を達成および維持できない根本的な理由を理解している企業がありません。10周年記念版となる「2020ベライゾン決済システムのセキュリティに関するレポート（PSR）」—この種のレポートとしては唯一、効果的で持続性のあるセキュリティ戦略とプログラムを策定、実行、維持するのに頭を悩ませている最高情報セキュリティ責任者（CISO）の課題を明らかにしています。

低下の一途をたどるコンプライアンス

PCI DSS（Payment Card Industry Data Security Standard）へのコンプライアンスは低下の一途をたどっています。この2020年版のPSRでは、企業のセキュリティ管理能力について、各年のコンプライアンスの達成レベルの評価だけでなく、セキュリティ管理を長期的に維持できるかどうかの観点から評価しています。

例えば、セキュリティ管理能力やプロセスの成熟度が評価されずに、技術による解決策が優先されるのはなぜでしょうか？企業の経営陣は、どのようにして社内のセキュリティ文化を向上させるために適応し、革新を起こし、進化させることができるのでしょうか？このレポートでは、セキュリティ対策の最大の落とし穴を解説し、CISOがデータセキュリティコンプライアンスの課題に取り組む方法を身につけるためのソリューションを提示します。また、様々な課題が生れる時代にあって、外部環境の変化に左右されることなくコンプライアンスプログラムの策定を成功させるために欠くことのできない重要な要素を探ります。

サイバー犯罪の主な動機は依然として金銭的な利益であり、データ漏洩/侵害全体の約9割（86%）となっています。小売業界では、セキュリティインシデントの99%が金銭的な動機によるものであり、攻撃者が最も求めている決済データは、依然として利益を生む商品となっています。現在では、POS（Point-of-Sales）端末ではなく、Webアプリケーションが小売業のデータ漏洩/侵害の主な攻撃経路となっています¹。

2020年版のPSRでは、以下の内容を扱います。

- PCI DSSのコンプライアンス低下が続いている現状
- CISOが経営陣の目に留まらないことが多い理由
- 戦略的データセキュリティ管理が陥る罠のトップ7
- 効果の高いデータセキュリティ環境を構成する5つの要素
- PCI DSSコンプライアンスのリファレンスカレンダー

主な調査結果

多くの企業では、データセキュリティとコンプライアンスをサポートするためのリソースが不足しているか、ビジネスリーダーによる賛同が得られていません。ほとんどの場合、データセキュリティ戦略が企業の経営や戦略に沿ったものになっていません。

CISOは、限られた予算、雇用枠の制限、すぐに解決すべき問題の山積に直面しており、これが短期的な対策の追求につながりません。長期的な解決策に向けて経営陣と一緒に戦略的な計画を策定するのではなく、その場しのぎで技術を適用することになります。こうした一時しのぎが失敗の原因になり、大抵のCISOは2年のほどで次の仕事に転職します。後継の多くもそのサイクルを繰り返すだけです。

その結果、PCI DSSコンプライアンスは年を追うごとに着実に低下しています。2020年度のPSRでは、2019年の中間検証で完全なコンプライアンスを達成していた組織はわずか27.9%でした。この値は、2017年から5ポイント下がった2018年の数値からさらに8.8ポイントも落ちています。サイバー犯罪の主な動機は依然として金銭的な利益となっており、データ漏洩/侵害全体の9割近く（86%）を占めています。小売業界内では、セキュリティインシデントの99%が金銭的な動機であり、決済データは依然として攻撃者が最も追い求める利益を生む商品となっています。現在では、POS（Point-of-Sales）端末ではなく、Webアプリケーションが小売業のデータ漏洩/侵害の主な経路となっています¹。

今年度のPSRでは、CISOが直面する課題と、それがどのようにしてコンプライアンスの崩壊をもたらしているかを深く掘り下げ、データセキュリティ管理が陥る7つの「罠」について説明しています。PSRの執筆者たちによると、問題は技術的なものではないため、新しいツールやアプリケーション、ハードウェアを購入しても解決できないということです。むしろ、これらの問題は組織のあり方に関わるものであり、それを解決するには次のような成熟した管理スキルを必要とします。

- 定型化されたプロセスの策定
- セキュリティのためのビジネスモデルの構築
- セキュリティの運用モデルとセキュリティフレームワークを基盤とする健全なセキュリティ戦略の定義
- セキュリティ管理能力とプロセスの成熟度を高めるセキュリティプログラムとプロジェクトの開発

詳細情報

ベライゾンの「2020 決済システムのセキュリティに関するレポート (PSR)」の全文を[verizon.com/paymentsecurityreport](https://www.verizon.com/paymentsecurityreport)でご覧いただけます。決済システムのセキュリティを高める方法や新たなレベルのコンプライアンス管理を実現する方法についての詳細は、ベライゾンのビジネススペシャリストにお尋ねください。または、paymentsecurity@verizon.comまでメールにてお問い合わせください。

豊富な実績を誇るベライゾンのサポート

ベライゾンは、PCI SSC (Payment Card Industry Security Standards Council) が格付けしているように、PCIのQualified Security Assessor (QSA) のなかでも世界有数の規模を誇るグループの1つです。組織がPCIのコンプライアンスを維持し、リスクを低減できるよう、ベライゾンはクレジットカードデータのセキュリティを高める一貫したアプローチを通じてサポートを提供します。

ベライゾンには、以下のような実績があります。

- 61か国でPCIサービスを提供しています。
- 世界30か国で合計180人を超えるコンサルタントがサポートにあたっています。
- 2009年から累計で18,000件を超える検証を実施してきました。
- 1999年からセキュリティコンサルティングサービスを、2003年からはPCIコンプライアンスサービスをそれぞれ提供しています。

